



八総務第131901号
令和5年1月19日

八幡平市議会議長 工藤 剛 様

八幡平市長 佐々木 孝 弘



令和4年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」で寄せられた要望・提言等に
に係る市の対応方針について（回答）

令和4年12月27日付け八議事第122702号で通知のありました標記について、次の
とおり回答します。

記

(1) 大更コミュニティセンター（令和4年11月19日・1班）

- ① 平館高校の存続発展のために特別な資格（産業関係、観光関係、観光ガイドなど）を取得できるようにしてほしい。さらに、すでに有名であるスキーや相撲だけではなく、ゴルフ強化指導が受けられる特別校にしてはどうか。ほかにも、全国から生徒が集まるような専門学科の検討はできないか。

【回答】

平館高校には学校運営協議会が設置されており、コミュニティ・スクールとして広く保護者や地域住民、地元企業の声などを伺いながら、魅力化に向けた取り組みを進めており、市教育委員会からも委員に名を連ねております。

その協議会の中で新しい科目を設けることについても意見が交わされており、そういう話し合いの上に立って岩手県教育委員会への要望が行われるものと考えます。

市といたしましては、その動静を注視しながら対応してまいりたいと考えております。

【回答担当課：教育総務課】

- ② 市立病院を産婦人科や皮膚科などがある総合病院にしてほしい。

【回答】

限られた医療資源を効率的かつ効果的に活用することや、医療と介護の連携の必要性が高まっていることから、盛岡医療圏内の市立病院の果たすべき役割といたしましては、急性期を経過した患者に対する在宅復帰に向けた医療またはリハビリテーションの提供を行う回復期機能が求められていると認識しております。



産婦人科につきましては、医師不足や偏在が続いており、県内の分娩取扱医療機関数も平成23年4月1日現在の39施設から令和4年4月1日現在では22施設と大きく減少し、市立病院への産婦人科の設置は非常に厳しいものと考えられます。

皮膚科につきましては、外科外来において対応可能な範囲での診察を行っております。

今後も市民の皆様に良質な医療を提供し、地域医療を担える病院となれるよう努めてまいります。

【回答担当課：市立病院】

- ③ 市への提言を出さないでくれと職員に言われました。市民の意見っていったい何なのでしょうか。

【回答】

市では、市民と行政が対等なパートナーとなって信頼関係を築き「協働」によって、住みよいまちづくりと市の発展を目指すため、様々な手段で寄せられる市民の皆様からのご意見、ご提案などを受けとめ、迅速な回答を行うとともに、本市の施策・事業に生かすことにより、市民満足度の向上及び共感と信頼の市政の推進に役立てることを目的として、どなたでも市に対するご意見をいただける「わたしの提言」を行っております。

これまでも皆様からいただいたご意見を参考に、市政の運営に役立ててまいりましたし、職員には当該事業の目的を周知してまいったところですが、このようなご提言をいただいたことを真摯に受けとめ、再度事業の周知を図るとともに職員倫理の教育の徹底を図ってまいります。

【回答担当課：企画財政課】

- (2) 松尾コミュニティセンター（令和4年11月19日・2班）

- ① 松尾地区の敬老会を1カ所で開催してほしい。

【回答】

市では敬老事業の見直しを行い、令和3年度から市主催の敬老会を行わず、地域団体（自治会、地域振興協議会）が行う敬老事業に対し経費の一部を補助する事業を実施しております。

松尾地区においても令和3年度には、12の地域団体が市の補助金を活用し敬老事業を実施しております。敬老事業には祝い品贈呈事業とつどい事業があり、それぞれの団体の計画により実施されているところです。

ご要望のありました敬老会の開催は、つどい事業の実施に該当します。松尾地区1カ所で開催するためには、自治会の連合体若しくは地域振興協議会がつどい事業を計画する必要がありますので、松尾地区の地域団体全体での検討が必要になるものと考えております。

【回答担当課：健康福祉課】

- ② 市立病院に診療予約をしたが、2時間半も待たされたので改善してほしい。

【回答】

市立病院では一般診療や救急対応に加え、新型コロナウイルス感染症の流行により感染外来の患者数が増大している中で、診療に当たる医師等医療従事者が感染し、出勤できない状況になる場合もあり、待ち時間が大変長くなってしまったものと考えられます。今後は、予約時間と診察の進行状況を把握しながら、待ち時間の短縮及び状況説明に努めてまいります。

【回答担当課：市立病院】

- ③ ハロウスクールの良い点ばかり開示されているが、悪い点や地域にとってのデメリットを知りたい。また、市からハロウスクールへの補助金1億6,400万円の使い道を納得できるように情報開示してほしい。

【回答】

ハロウインターナショナルスクールが昨年8月に開校し、イギリスをはじめ様々な国の方が本市に転入してきました。また、ハロウインターナショナルスクールの開校のみならず、本市はインバウンドによる誘客施策も行っているところでございます。

このような外国からの移住者やインバウンド観光客に対してのデメリットといたしましては、地域の方々の文化や習慣の違いによる意識の差や、外国の方が買い物や様々な施設を利用する場合に、言葉が通じないことによるコミュニケーションの弊害などが考えられます。

また、ハロウインターナショナルスクールへ対する補助金につきましては、一般的な通常経費や生徒の福利厚生費、活動費等の学校運営に必要な経費の一部に充てられます。

【回答担当課：企画財政課】

- (3) 平舘コミュニティセンター（令和4年11月26日・1班）

- ① コミュニティバスについて、デマンド型交通にしてはどうか。大型バスは必要ない。小型でいいので充実してほしい。

【回答】

市では、西根・松尾地区コミュニティバス6路線、安代地区コミュニティバス3路線、兄畑駅と市立病院を結ぶ幹線バスを運行しています。安代地区田山路線の一部につきましては、デマンド型により運行していますが、そのほかの路線は全て定時定路線で運行しているところです。コミュニティバスの運行を開始してから10年以上が経過しますが、人口減少等に起因し、利用者数は減り続けており、路線によっては、ご提言にありますとおり、デマンド型交通等への運行モード転換、最適な運行車両への変更等、様々な運行形態を検討しなければならないと考えているところです。

市では、来年度、地域公共交通計画の策定を予定しております。計画策定の中

で、地域交通の実態、ニーズ把握を行い、目指すべき地域公共交通ネットワークの姿を明らかにし、持続可能で効率的な地域交通体系の構築を目指してまいります。

【回答担当課：まちづくり推進課】

- ② LINEアプリについて市のPRが足りない。テレビや新聞など積極的に活用すべきである。

ホームページに売りである50万円の出産祝金の記載がない。市のホームページは市民が知りたい内容に行くために数回クリックしなければならないので、もっと工夫してほしい。

【回答】

本市では「イベント等の開催・中止・延期などの情報」や「市ウェブサイト主要記事へのリンク誘導」のほか「いわてモバイルメールから配信される八幡平市の災害、火災、気象情報」などにつきまして、市民等への情報提供サービス向上を図ることを目的として、令和4年3月1日から市公式LINEアカウントの運用を開始いたしました。

運用開始以来、市公式LINEアカウントの周知につきましては、市広報誌や市ウェブサイト掲載による登録案内のほか、市内の公共施設、金融機関、郵便局、病院、コミュニティーセンターなどに、ポスターを掲示しております。

また、6月からは転入・転出の手続き者に対してチラシを配布しているほか、8月には市内全戸にチラシを配布するなどにより、登録者が増加しているところ です。

テレビや新聞などでのPRにつきましては、5月に岩手日報記事でこの取り組みをご紹介していただいたところではございますが、登録対象者の大半が八幡平市民であることから、費用対効果の観点も踏まえて、既存の媒体を活用して引き続き周知を図ってまいります。

【回答担当課：まちづくり推進課】

本市では令和4年度から、出生1人目から50万円を支給する施策を実施しており、担当課から市民へ周知を図っているところでございますし、市の広報紙やホームページにも掲載しているところでございます。しかしながら、ご指摘のとおり、ホームページに掲載されていても検索しにくく、なかなか目的の記事にたどり着くことができないといったお声は、市民の皆様からもいただいているところでございます。

また、当市の子育て対策は他の自治体に比べ充実しているが、知らない人が多いというお声もいただいておりますことから、皆様のご意見を参考に、見やすく、すぐに欲しい情報を得られるようなホームページへと改善を図ってまいります。

【回答担当課：企画財政課】

- ③ 平館交差点の J A 跡地を地元の公園として整備してはどうか。

【回答】

当該土地は、近隣に小学校や保育園、金融機関や大型商業施設のほか、地域の商店などが集積している地域にあります。さらには、国道 282 号西根バイパスに面する好条件の土地であるとしてとれますが、市といたしましては、現在、当該土地の取得については考えておりません。

当該土地は、新岩手農業協同組合の所有地であり、民間の資産として十分利活用できる有益な場所でございます。まずは土地所有者の意向と地域の意見を双方で確認し、協議検討していただくのが良いのではないかと考えます。

市といたしましては、住みよい街づくりに向けた環境整備に努めるため、公民連携や公園などの地域管理による活用を推進しておりますので、皆様との意見交換等を引き続き行ってまいります。

【回答担当課：企画財政課】

- (4) 荒屋コミュニティセンター（令和 4 年 11 月 26 日・2 班）

- ① 老朽化が進む荒屋公民館はいつ解体されるのか。

【回答】

当該施設は安代町立中央生活改善センターとして昭和 43 年度に旧耐震基準で建設した建物で、建築から 52 年経過し老朽化が進んでいます。

また、耐震基準を満たしておらず、急傾斜地危険区域の範囲に含まれるため休止しており、令和 4 年 3 月に策定されました「八幡平市公共施設再編計画」で廃止の方針となっています。

解体については、多大な解体費が想定されることから、今後協議を重ねて速やかに実施してまいりたいと考えております。

【回答担当課：まちづくり推進課】

- ② 鹿角街道沿いの立て看板が古くなって倒れたりしている。新しいものに建て替えるなどの整備をしてほしい。

【回答】

市では、市内にある指定文化財や埋蔵文化財を、市民に広く周知し、その価値を市民が共有しながら後世に継承していくことを目的として、標柱を設置しています。過去に市（教育委員会）が建てました文化財標柱や説明板につきましては、台帳に基づき毎年予算計上して順次建て替えを行っております。特に木製標柱は、腐食が進み文字がかすれ判読不能になっているもの、倒壊しているものも多く、そういったものを優先して計画的に建て替えを進めております。

鹿角街道沿いの看板につきましても、鹿角街道は歴史的にも重要な意味を持つ貴重な文化財であり、さらには今後において観光面での活用も十分に考えられる重要な資源です。かつての調査成果も踏まえながら旧鹿角街道のルート調査を改

めて実施し、市民はもとより観光客にも分かりやすい、案内板等の整備を進めてまいります。

【回答担当課：文化スポーツ課】

- ③ 山の伐採後、林道から泥水が道路や水路に流れている。泥で道路が汚れるだけでなく、水路が詰まったりもするので、伐採後の林道の管理を徹底してほしい。

【回答】

伐採後の林道の管理につきましては、「伐採及び伐採後の造林の届出書」の受付の際に、指導しているところでございます。今年度から「伐採及び伐採後の造林の届出書」に「伐採及び集材に係るチェックリスト」の添付が義務付けられました。チェック項目には「林地保全に配慮した集材路・土場の配置・作設」や「人家、道路、取水口周辺等での配慮」などのチェック項目が設けられており、集材路・土場の作設によって土砂の流出・崩壊が発生しないよう集材方法や使用機械を選定し、集材路・土場の配置を必要最小限にすることや、人家、道路等の重要な保全対象が下にある場合には、その直上では集材路・土場を作設しないこと、水道の取水口の周辺では集材路・土場を作設しないことなどの確認を行っております。

また、「伐採及び伐採後の造林の計画の適合通知書」内の留意事項でも、伐採、搬出に当たっては、土地の保全、水源涵養、環境保全等に配慮し、当該地域及び周辺地域での土砂の流出、崩壊、その他災害が発生しないよう十分留意して行っていただくよう記載しております。引き続き、伐採後の土砂流出などが起こらないよう、注意啓発を行ってまいります。

【回答担当課：農林課】